

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2023 -19	2023/1/25	Northrop Grumman makes play to add power, space on DDGs for weapons	ノースロップグラマンは、DDGに武器用のパワーとスペースを追加するために行動する	DefenseNews 2023/1/25	 電力消費の大きいSPY レーダーやSEWIP 電子戦システムのそれぞれの電源装置を統合し、装備スペースの縮小を図るというノースロップグラマンの提案である。電源装置の冗長性確保はどの様な考え方なのか？を注目していきたい。	清水隆
2023 -20	2023/1/23	Navy Closes 4 Puget Sound Submarine Dry Docks Following Earthquake Risk Study	海軍は、地震リスク調査を踏まえ、Puget Soundの潜水艦用ドライドックを4か所閉鎖する	USNI News 2023/1/23	 米海軍が米西海岸の多重断層帯上に位置する原潜修理造船所について、耐震補強工事のため4か所のドックを一時閉鎖しました。原潜が入渠中に大地震が発生した際の被害を防止する目的ですが、現在でも原潜の維持整備に遅延を生じている状態でさらに4か所のドックが使えないと、原潜維持整備が益々ひっ迫するのは明白です。インド太平洋地域の状況を勘案すると心配です。	佐々木司
2023 -21	2023/2/1	Rethinking Japan Self-Defense Force's Strategic Deployment	自衛隊の戦略的配備を見直す	Proceedings 2023/2/1	  米国の高校を出て米海兵隊の学校を卒業した陸上自衛隊の1 陸尉(?)が、今月号の プロシーディングス誌に投稿しています。沖縄に陸海空自衛隊の統合部隊を設置せよという提言です。まっとうな意見とは思いますが、先の台湾有事ウォーゲーム CSIS の結果のように、初戦で真っ先に壊滅してしまう(特に 沖縄の基地 司令部 や 台湾に 近づく 海自 艦艇 など)おそれもあります。さて、どうすればいいのか……	岩崎洋一
2023 -22	2023/2/1	DARPA Awards Contracts for Long-Range 'Liberty Lifter' Flying Boat Design	DARPAが長距離飛行可能な「リバティ・リフター」飛行艇の設計を契約	USNI News 2023/2/1	 DARPAはいつもながらとんでもないものを考えています。文中で米国の契約方式が出ていましたので、訳注と巻末に整理しました。これはコストがいくらかかっても補償される契約方式です。	岩崎洋一
2023 -23	2021/11/3	GE To Provide Propulsion Systems For The New French Navy BRF Ships	GEが仏海軍の新型BRFに推進システムを提供	GE press release 2021/11/3	 仏海軍の新型補給艦のCODLAG推進システム向け、電気推進ドライブ装置MV7000を出荷。同新型補給艦は最大速力20kt 航続距離は7000マイル(巡航16kt)、電気推進速力10kt	清水隆
2023 -24	2023/1/31	French Navy's New BRF Supply Ship Starts Sea Trials	フランス海軍の新BRF補給艦が海上公試を開始	NavalNews 2023/1/31	 仏海軍の新型補給艦の海上公試が始まった。本艦は仏と伊の共同設計によるもので、仏海軍用として4隻が建造される。伊海軍は2隻を建造する。推進装置はCODLAG。	清水隆
2023 -25	2023/1/31	Navy Destroyer Modernization Program Could Cost \$17B, Take Up to 2 Years Per Hull	海軍の駆逐艦近代化計画は170億ドルの費用と1隻あたり最大2年かかる可能性がある	USNI News 2023/1/31	 米海軍がArleigh Burke Flight IIA約20隻に対し、Flight III並みのレーダー、電子戦装置をバックフィットする計画を進めています。近代化の費用が1艦当たり何と約8.5億ドル(約1200億円)！改造期間が1.5~2年かかる大事業です。ただし、近代化したばかりの巡洋艦を除籍するなど、海軍のずさんな近代化計画の前科を基に議会は懐疑的なようです。	佐々木司
2023 -26	2023/2/2	Thousands of ships set to be hit by India's age restrictions	インドの年齢制限に見舞われる数千隻の船	Splash247.com 2023/2/2	 艦船情報ではありませんが、しかし、海運業界の強化は海上防衛基盤に関わる重要な事項だと思います。その観点で、このニュースを紹介したいと思います。ひょっとすると、日本の造船業界にもプラスになるかもしれません。3件の関連ニュースを拾い読みしております。	清水隆
2023 -27	2023/2/2	CBO Report on U.S. Hypersonic Weapons and Alternatives	米国の極超音速兵器とその代替案に関するCBO報告	USNI News 2023/2/2	 最近ますます極超音速ミサイルの脅威が言われていますが、中露が喧伝するほどの能力があるかは疑問で、米側からみて開発費や運用も考慮すれば代替案もあり得ると米議会予算局(CBO/CBO)が報告しています。後半に、報告書の中の図を抜粋しました。	岩崎洋一

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2023 -28	2023/2/4	Navy replaces troubled part on Ford carrier after test cancelation	試験をキャンセルした後、海軍はFord級空母の問題ある部品を交換する	Naval Times 2023/2/4	 就役後も様々な不具合を抱える米空母Gerald R. Fordのジェットブラストデフレクターについて不具合を特定し改良した部品と交換したという記事ですが、不具合原因が何と暴露部である飛行甲板に装備する同装置のアクチュエータの部品が錆びていたというのです。雨水や海水飛沫が当然かかる装置の重要部品に錆びる材料を用いていたとは開いた口がふさがりません。	佐々木司
2023 -29	2023/2/8	World's Largest Submarine Drone Being Built In Germany	ドイツで建造中の世界最大級の潜水艦ドローン	Naval News 2023/2/8	 ドイツが大型のUUV建造を開始したようです。「カレイ」のように平べったいので、海底に沈座して獲物待つ構想もあるのかと。海自も海洋観測用UUVを整備するようですが、民生品を直調し、自隊研で早期戦力化を図らねば時機を失すと思います。	川原梅三郎
2023 -30	2023/1/1	The First Battle of the Next War Wargaming a Chinese Invasion of Taiwan	次の戦争の最初の戦い中国による台湾侵攻を想定したウォーゲーミング	CSIS 2023/1/1	 最近話題になっているCSISが出した台湾有事のシミュレーションです。先ず、全体をまとめた要旨からお送りします。	岩崎洋一
2023 -31	2023/1/1	The First Battle of the Next War Wargaming a Chinese Invasion of Taiwan	次の戦争の最初の戦い中国による台湾侵攻を想定したウォーゲーミング 第1章	CSIS 2023/1/1	台湾有事シナリオの第1章です。	岩崎洋一
2023 -32	2023/2/8	Raytheon teams up with US Navy to deliver JPALS equipment for Japan carrier Izumo	Raytheonが日本の空母いずもにJPALSの装備を引き渡すために米海軍と協力する	Navyrecognition 2023/2/8	 米海軍がRaytheonと日本の「いずも」型DDHでF-35Bを運用するための近着艦システム調達契約を行ったそうです。米空母及び強襲揚陸艦、外国では英QE、伊カプールのみに装備されている装置です。日本は「いずも」型を用いてF-35Bを艦上で本格運用する3か国目の同盟国ということになります。ここ数年、DDHへのF-35B搭載は実現に向け急展開しています。	佐々木司
2023 -33	2023/1/1	The First Battle of the Next War Wargaming a Chinese Invasion of Taiwan	次の戦争の最初の戦い中国による台湾侵攻を想定したウォーゲーミング 第5章	CSIS 2023/1/1	台湾有事シナリオの第5章です(2~4章は省略)。	岩崎洋一
2023 -34	2023/1/1	The First Battle of the Next War Wargaming a Chinese Invasion of Taiwan	次の戦争の最初の戦い中国による台湾侵攻を想定したウォーゲーミング 第6章	CSIS 2023/1/1	台湾有事シナリオ、第6章です。	岩崎洋一
2023 -35	2023/1/1	The First Battle of the Next War Wargaming a Chinese Invasion of Taiwan	次の戦争の最初の戦い中国による台湾侵攻を想定したウォーゲーミング 第7章	CSIS 2023/1/1	台湾有事シナリオ、第7章です。	岩崎洋一
2023 -36	2023/2/10	Newport News has fully staffed attack sub line, after years of delays	数年遅延の後、Newport Newsでは攻撃原潜の建造ラインに十分な人員を配置した	Defense News 2023/2/10	 米国における原潜建造基盤に関する記事です。バージニア級潜水艦の建造が遅延している原因をコロンビア級潜水艦開発に人員が必要であったこと、コロナのパンデミックの影響があったと述べ、現在は人員を十分に再配置できていると会社は述べていますが、記事を見るとあまりに楽観的な見通しです。米国の企業経営者は概して対外説明では楽観的なようです。	佐々木司
2023 -37	2023/1/1	The First Battle of the Next War Wargaming a Chinese Invasion of Taiwan	次の戦争の最初の戦い中国による台湾侵攻を想定したウォーゲーミング 第8章	CSIS 2023/1/1	台湾有事シナリオ、第8章(最終台湾有事シナリオ、第8章(最終))です。第2~4章の訳は省略しましたが、希望される方は連絡ください。	岩崎洋一
2023 -38	2023/2/1	Defend Taiwan with Naval Mines	機雷で台湾を 防衛する	Proceedings 2023/2/1	 米海軍 の中では最もマイナーな機雷戦 で台湾 を防衛 せよとの意見 です。Proceedings誌 2月号 から。	岩崎洋一



整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2023 -39	2023/1/16	Developing the Type 31 frigate	Type 31フリゲート艦の開発	Navy Lookout 2023/1/16	  <p>英海軍の新型フリゲート艦Type 31の開発経緯の記事です。Type 31は、モジュール化の元祖デンマークのSTANFLEXの流れをくむことを初めて知りましたが、これは輸出を強く意識した、主に兵装の柔軟性を向上させるための判断と思われる。これらは、機能拡張や近代化改修をも容易にする基盤になると考えられます。また、各種シグネチャ低減のほか、NOxガス対策や複合材料装甲が採用されていることも特筆されます。区画配置には、英海軍伝統の縦隔壁の多用、“個室主義”の設計を匂わせる記述があります。近年でも、QECなど大型艦に採用されていますが、被害想定、艦規模、機器配置などによっては、個室主義の合理性も見出され得ると考えられます。引続き、Type 31の動向把握に努めていきます。</p>	本山泰之
2023 -40	2023/2/17	The Royal Navy's Astute class submarines: Part 2 -platform design	英海軍のAstute級潜水艦:パート2 -プラットフォーム(船体)の設計	Navy Lookout 2023/2/17	  <p>英海軍のAstute級攻撃型原潜潜水艦のプラットフォームの設計に関する記事です。特殊部隊潜搬入のためのDDS、艦制御装置、各種装備品、原子炉区画などの推進システムなどに関する、比較的詳細な記述があります。情勢変化から要求されたDDS搭載への設計変更は、運用実態から再評価されるべきとの所見もありましたが、本級で実現された優れた性能・機能・安全性などが紹介されています。GAの記載もあります。設計上、停泊中での没水部や上部構造内の装備品の整備性についても、考慮されていることも記されています。引続き、パート3もフォローして参ります。</p>	本山泰之
2023 -41	2023/2/21	Admiral Gilday sees uncrewed vessels as critical to US Navy's future	Gilday大將は、無人艦艇が米海軍の将来に不可欠であると見ている	Defense News 2023/2/21	 <p>米海軍CNOによる無人艦艇活用の見通しに関する記事です。CNOは無人艦艇を当面広域監視用のアセットとして活用する方向のようです。また4、5年先には空母打撃群に随伴させて運用することを目標にしているようです。別の記事では無人艦による物資輸送や無人艦に搭載した遠隔操作ミサイル発射装置を用いた発射実験も行っており将来的には広範な活用が見込まれます。</p>	佐々木司
2023 -42	2023/2/22	U.S., Japan, South Korea Hold Ballistic Missile Defense Drills after North Korean Launches	北朝鮮の発射を受け、日米韓がBMD訓練を実施	USNI News 2023/2/22	 <p>昨日、日米韓の艦艇でBMD情報共有訓練が行われたということです。</p>	岩崎洋一